

## 細断型ロールベアラ等を活用したトウモロコシサイレージ多給短角牛の 安定生産と地域ブランドの確立（産学官連携経営革新技術普及強化促進事業）

【宮古農業改良普及センター】

### ■ 課題名

畜産の振興：日本短角種の生産振興

### ■ ねらい

岩泉町において、コントラクターによる細断型ロールベアラなどの新技術を活用して収穫調製されたトウモロコシを短角牛に多給し、生産された牛肉を安定的に提供していくことを通じて、地元をはじめ、各地で消費されるよう販売促進に取り組み、その結果、地域ブランドとして確立し、地域産業振興に貢献することを目的とする。

### ■ 活動対象

短角牛肥育農家、(社)岩泉農業振興公社、(株)岩泉産業開発

### ■ 活動経過

- (1) 新技術等を活用したトウモロコシ栽培技術の確立
  - ア 高標高地用品種選定のための品種比較試験
  - イ 不耕起栽培実証
  - ウ 電気牧柵活用による熊被害対策の技術実証

} 早坂峠付近実証圃設置・運営  
(標高950m、作付面積3.5ha)  
播種：5月23日～収穫：10月10～12日
- (2) コントラクターによる効率的な大規模トウモロコシ栽培収穫調製体系の確立
  - ア (社)岩泉農業振興公社におけるトウモロコシ生産部門設置支援
  - イ 普代黒崎圃場におけるトウモロコシ生産技術支援  
(作付面積18ha、播種：5月19～24日、：収穫：10月1～3日)
- (3) トウモロコシサイレージ多給による短角牛肥育技術の確立と現地実証
  - ア 月例体重測定及び給与指導の実施  
4月25日、6月17日、7月15日、8月22日、9月26日、10月20日、11月20日、12月24日、1月26日、3月3日、3月30日
  - イ 省力化に向けた飼養管理方法の検討
    - (ア) 先進地視察（視察先：金ヶ崎町 実施日：12月11、12日 参加者：全11名）  
女性農業者の労働改善を目的に自走式給餌機利用事例やTMRセンターを調査した。
    - (イ) 自走式給餌機実演会（会場：畠山氏牛舎 実施日：3月10日 参加者：全18名）  
デモ機を機械メーカーから借り受け、地元で給餌の実演を行った
- (4) 短角牛肉の安定生産による流通・消費拡大
  - ア 学校給食における牛肉の活用及び「いい肉の日（11月29日）」における食育活動
  - イ 実需者への販促活動

### ■ 活動成果

- (1) 飼料生産  
農家共同生産システム(3.5ha)と地域生産システム(18ha)が形成され、飼料基盤を拡充した。
- (2) 肥育技術  
肥育技術の安定化が図られた。省力的な飼養管理法の採用については、自走式給餌機の活用が有望と判断した。（導入は次年度の課題。）

(3) 販売対策

加工食品開発の取組により低需要部位の課題が解消された。販路が確保され今春出荷頭数（20頭）は予約段階で完売。

(4) これらは、トウモロコシサイレージ多給肥育農家の意欲喚起に繋がり、実施農家戸数は3戸（←2戸）となり、肥育頭数が45頭（←20頭）になった。



月例体重測定の様子



開発された短角牛つくね



自走式給餌機実演会の様子  
※地元農家の三上亜希子さんのブログから引用しました。

■ 協働した機関

岩泉町 (株)岩泉産業開発 J A新しいわて (社)岩泉農業振興公社

■ 宮古農業改良普及センター、宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター\*

チーム名：畜産振興支援チーム 普及課長 沼田聡 チームリーダー 川村輝雄\*  
チーム員 村上和史\* 菊地直子 鈴木強史\*

執筆者：村上和史\*